

ひと まち 輝く

キラリ★ kirari

箕面市立みのお市民活動センター

(指定管理者:(特活)市民活動フォーラムみのお)

〒562-0013 箕面市坊島4-5-20
みのおキューズモールWEST1-2F

TEL. 072-720-3386 FAX. 072-720-3387

<http://www.shimink.jp/>

Vol. 6

令和2年(2020年)3月発行



トピック

アップサイクルで、
子どもたちがワクワクする場を作りたい！
その時々やりたいことを

ウィークラフト
代表 坂井久美子さん



メンバーの作業風景(箕面船場まちづくり協議会にて)



豊中支援学校の授業でクラフト材料を制作



豊中支援学校・生徒の作業風景



カップヌードルミュージアム 横浜でのワークショップ風景



アップサイクル※で、こどもたちがワクワクする場を作りたい!

アップサイクルの活動に取り組むNPOの「ヴィークラフト」と日清食品がタッグを組んで、2月から3月にかけて今話題の「プラスチックによる環境汚染問題」に取り組むワークショップを開催すると聞き、代表の坂井久美子さんにお話を伺いました。

この活動を始めたきっかけは?

企業でデザインの仕事をしていた坂井さん。日頃から環境に関心がありましたが、ある日デパートで見た廃材を利用したメキシコ作品の“もったいない精神”に感動し、クリエイティブをキーワードにしたリサイクルクラフトに強く引き付けられました。その後、自分なりに廃材を工夫した作品活動を始めていくと、仕事として関わっていた箕面市障害者事業団からのつながりや大阪市の紹介でつながった企業からの廃材提供、環境問題に関心のある団体や市民の皆さんとの出会いと、どんどんネットワークが広がりそれが活動の原動力になっているといいます。

「こどもデザインラボ」から広がる活動に期待

現在ヴィークラフトは、箕面船場まちづくり協議会の「こどもデザインラボ」活動に参加しています。これは、子どものデザイン力を育む=社会の課題解決を考える機会を提供したい。考える場を作りたいという思いから誕生し

たそうです。その手段の一つにアップサイクルという価値観があります。地域拠点からの発信は、学校での環境教育や総合授業などにつながり活動を知ってもらおうチャンスだと感じているそうです。

日清食品ホールディングスとのコラボ企画の経緯を教えてください

そんな矢先、日清食品ホールディングスは、企業の社会貢献事業として「プラスチックによる環境汚染問題」に取り組むため、企画に協働できる団体を探したところ、ヴィークラフトにたどりつき、お声がけをいただきました。特に、活動の主旨である「子どもたちのデザイン力を育むこと」や「廃材の準備作業を地域の就労支援につなげるしくみ」が、コラボの大きな要因になったようです。そして、2月8～9日の2日間、「カップヌードルミュージアム 横浜」で開催された「みんな考えようプラスチックのこと!日清“プラ育”プロジェクト」のオリジナルポーチづくりワークショップを担当し

ました。クラフト材料は、箕面市周辺の障害者団体、特別支援学校が加工作業を行い制作しました。このイベントは、今後、地元箕面でも開催する予定です。

アップサイクルに託す思いとは?

箕面船場まちづくり協議会と今後も連携しながら、より多くの子どもたちが集い、学ぶ機会を提供したい。そして、子どものデザイン教育として期待することは、この動きを後押しできる市民であり、行政であってほしいと語る坂井さん。「アップサイクルを通して子どもたちがワクワクする場を作りたい!」と、熱い思いを語ってくださいました。

※アップサイクル

廃材を利用するだけでなく、その廃材から価値のあるものをよみがえらせるという考え方です。



VVV-Craft(ヴィークラフト) Information

廃材を素敵なデザインで蘇らせるクラフト教室やイベントを通して、『子どもや若者の想像力や企画力を育み、モノを大切にする』活動です。洗剤の袋でポーチを作ったりクリエイティブを楽しもう!

Mail sakai@vvv-craft.jp

URL <https://vvv-craft.jp/>

facebook <https://www.facebook.com/VvvPro/>



その時々やりたいことを

いつもどこか余裕があり、楽しそう。コクレオの森(箕面こどもの森学園※)の理事で、穏やかな親しみやすい雰囲気がある芳仲猛さんにお話を伺いました。



人との関係が深まったきっかけ

支援学校の教員時代、保護者と一緒になって障がい児・者の教育や福祉に関わる様々な運動や活動をしてきました。その中の一つに土曜教室があります。1995年頃から学校週五日制が導入され、学校以外に活動の場のない子どもたちの受け皿として始まりました。教員の他、音大生やYMCAの職員にもメンバーになってもらい遠足、スキーツアー、プール、潮干狩り等のお出かけや室内での音楽、ゲーム等色々なことをしました。そこで始めた料理教室は私自身とても勉強になりました。カヌーの体験教室は退職後も続いて今年で15回目を迎えます。

偶然の出会い

コクレオの森とは偶然が重なって出会いました。フランス留学中、大学の講義を時々さぼって港へ釣りに行っていたのですが、ある日偶然バス停でフレネ教育研究者の若狭蔵之助氏が釣竿を持った私に声をかけたのがすべての始まりです。彼はフレネ教育の研究のためにニースに滞在していました。そこでフレネ教育について話を聞き、学校見学も一緒に行きました。その後帰国して私は支援学校に勤め、障がい児教育の道に入ります。そしてフレネ教育とは年に一回の全国集會に出かける程度の関わりが続いていました。そんな中、妻から箕面にフレネ教育をする学校ができるという話を聞き、今に至っています。非常にマイナーなフレネ教育の学校がよりによって私の住んでいる箕面にできるというのは隕石に当たって死ぬぐらいの確率だと思いました。

箕面こどもの森学園ではフレネ教育やイエナプランをもとに子ども自身の自主性や自由な表現を尊重した学習が行われています。私の今までの生き方と重なる部分が多々ありますが、一つ大きな違いがあります。箕面こどもの森学園では一人ひとりが学習計画を立て、活動の後に振り返りを行い次の計画を立てるという具合にやっていくのですが、私の人生は行き当たりばったりです。とくに振り返りという行為はほとんどありません。その道一筋の、というのはどうも苦手で、その時々にくわくわくすることをやってきました。松本白鷺さんの言葉に六十歳過ぎてから見る夢が本当の夢、というのがありますが、これからも夢を追いかけていきたいです。

※ 認定NPO法人コクレオの森が運営する学校。同法人の旧名称でもある。

芳仲 猛さん Information

元支援学校教員。

趣味・特技:

クラシックギター、フランス語、料理、園芸、旅行、食べ歩き、骨董

大阪府箕面市在住

コクレオの森について 詳しく知りたい方は



みんなで創るミライの学校
21世紀の学びのカタチ
辻 正矩 藤田 美保
守安 あゆみ 佐野 純
発行: 築地書館 2019年

promo

広報 promo 検索

記事はウェブサイトで随時掲載。

NPO広報サポーターpromo(プロモ)は、本誌発行団体の広報サポーターが地域のNPOの活動現場取材レポートしています。
<http://promo.minoh-npo.com/>

新感覚スポーツ 「ふうせんバレーボール」

直径40cmの風船を使い、年齢・障害なども関係なく誰もが一緒にプレーできるという日本生まれの「ふうせんバレーボール」をご存知ですか?福祉先進国ドイツでもコミュニティスポーツに取り入れられるなど国内外で広がっているそうです。

今回は、地域の多種多様な人たちが自然に交ざりあうまちづくりの活動をする一般社団法人ぐるりが行う「ふうせんバレーボール」に参加してきました。

風船の中には鈴が入っていて、1チームは6人。全員が必ずボールに触れてパス10回以内で相手コートに返すルールです。風船ボールは不規則に動くので、車椅子や動作制限、体格や運動能力も様々な6人が上手にパスをつなぐには声かけと連携が大事です。「フォロー!」「上手!」とプレーヤーも応援者も一緒に声を出します。容赦ないアタックやフェイント、必殺技もあり、ゆるい運動かと思いきや想像以上にエキサイティング。ふうせん



バレーボールは初対面の人でも一瞬で仲良くなって、皆と心がひとつになる一体感が感じられる楽しいスポーツでした。

一般社団法人ぐるり Information

TEL 090-2062-7365

Mail gurumoil@gmail.com

URL <https://gururizumu.jimdo.com/>

今回掲載記事に関するクイズです。
本誌の記事をよく読めばヒントがあるかも？

ふうせんバレーボールのボールには、「あるもの」が中に入っています。それは次のうちどれ？

- ① 紙吹雪
- ② 鈴
- ③ 羽毛
- ④ 熱湯



答えと解説
② 鈴
日本スズせんぼん協会(1)の公式ボールは、鈴か2個入っています。祝賀贈呈も鈴の音を頼りに、お祝い行事でよく使われます。
①紙吹雪は、お祝いの位置から離れたところに飛ばす。
③羽毛は、お祝いの位置から離れたところに飛ばす。
④熱湯は、お祝いの位置から離れたところに飛ばす。
<解説>

インフォメーション

「みのお市民活動グループガイド2020」発行!

【内容】箕面市内の市民活動団体の基礎情報
市民活動・ボランティアQ&A 他

みのお市民活動センター、
箕面市役所 人権文化部 生涯学習・市民活動室、
箕面市社会福祉協議会ボランティアセンターで
無料配布を予定しています。

ご希望のかたは
みのお市民活動センター まで
お問い合わせください。



【発行】
みのお市民活動センター
【編集】
特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお
【編集協力】
社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会
箕面市社協ボランティアグループ連絡会

市民活動

フォーラム

みのお

みのお市民活動センターを
管理運営するNPO法人です。
様々な課題に取り組む
市民活動の応援をしています!

センターではこんなサービスを提供しています!

誰でも使える…印刷機、コピー機、貸会議室等
市民活動団体が使える…年登録制:
事務ブース(貸事務所機能)、貸倉庫

団体のお困りごとに答えます!

活動支援「夢の実支援金」…団体の立上げ、事業の拡充を資金面で応援します。
団体の運営課題の解決…事務力、広報力のスキルアップ講座を開催しています。
その他ホームページ、SNSでさまざまな情報発信をしています。

社会課題に取り組んでいる活動をアピールしています!

市民活動の紹介や被災地復興支援のイベント、市民社会講座やフォーラムを開催しています。

何かしたい!役立てたい!という思いに答えます!

ボランティア情報サイト v-info…ボランティア情報を発信しています。
NPO広報サポーター promo…団体の取材を通してNPOの活動を体感できます。
NPO・市民活動を紹介する冊子の発行等情報提供しています。

当法人のネットワークで、いろいろな分野をつなげます!

市民活動と企業、店舗、学校などと連携することで、強みを活かした活動につながります。

